

第5学年国語科学習指導案

日 時	平成18年11月2日(木) 授業I
場 所	5年1組 教室
児 童	男子15名 女子13名 計28名
指導者	一條 政子

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう (光村図書 5年下)
教材名 「ニュース番組作りの現場から」

2 単元について

(1) 教材について

本教材は、ニュース番組の特集の作り方についてまとめた説明文である。時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方などが分かりやすく整理されており、ニュース番組作りに関する情報提供としてだけでなく、時間に沿って大事な事柄に注意して読み取る文章としても適している。そして、本教材に書かれた内容が、その後の「工夫して発信しよう」の活動の手引き、解説にもなっている。また、社会科学習などを通して、世の中についての興味・関心を高めてきている5年生児童が、情報活用について視野を広げるために適した教材でもある。

「工夫して発信しよう」の活動では、発信する情報のできそのものよりも、受け手にとって意味のある話題をどう取り上げるか、取材のための方法にはどんなものがあるのか、どういう情報が必要か、伝えたいことの方がよく分かるようにするにはどう編集したらよいか、などを考えることを通して、目的に応じた情報の配列・編集などについて理解を深めさせたいと考える。

(2) 児童について

児童は、上巻単元の説明文「サクラソウとトラマルハナバチ」で要旨把握を行い、要旨から読み取れる筆者の考えを踏まえ、それに対する自分の考えをまとめる学習をしてきた。また、「千年の釘にいどむ」では、書かれている事実に基づいてその内容を読み取り、自分の感じ方や考え方を明確にして感想を書く学習をしてきている。さらに「人ともとの付き合いかた」で、広い意味での環境問題について自分なりの考えを持つ学習もしてきた。

しかし、文章から筆者の気持ちを豊かに読み取ったり、視写文への豊かな書き込みについては、限られた児童の発表により共有することが多く、全ての児童が豊かな読みができていくまでには至っていない。

視写に関しては、これまでの取り組みにより児童の抵抗感は少なく、意欲的に取り組む児童が増えてきている。

読書活動については、今年度、読書タイムが日課表に設定されたこともあり、落ち着いた状態で本の世界に浸ることができる児童が多い。

(3) 指導にあたって

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。さらに、「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」「書かれている内容について事象と感想、自分の考えを明確にしながらかくこと。」が要求される。

そこで本教材では、この目標に少しでも近づくために、単元を通して「課題確認」「読み取り」「視写」「一人学び」「学び合い」「まとめ」という学習過程の中で、音読、視写、書き込みの学習活動を行い、番組づくりの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの努力や願いを読み取り、豊かな読みへとつなげていきたい。

また、読み取った内容をもとに、児童自身が集めた材料を目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書く活動を行うことによって「書く力」も高めていきたい。

3 単元の目標

(1) 関心・意欲・態度

- ・ニュースを探して伝えることに興味をもち、必要な図書資料を選んで読もうとしている。(読ア)

(2) 読むこと

- ・ニュース番組の「特集」の作り方を理解し、段落ごとにその内容を読み取ることができる。(読イ)
- ・番組づくりの大切な点を押さえながら、報道スタッフの努力や願いを読み取ることができる。(読イ)

(3) 書くこと

- ・目的や相手を意識し、集めた材料を目的に合わせて整理し、配列に気を付けて書くことができる。(書ア・イ)

(4) 話す・聞く

- ・自分の伝えたいことや意図が伝わるように、話の組み立てを工夫しながら話すことができる。(話ア・聞ア)

4 指導計画 (17時間扱い)

☆参考図書

段階	時間	ねらい	学習活動	具体的評価規準
つかむ	1	・全文を読み、印象に残ったことなどの感想をもつ。	・全文を通読し、感想や疑問に思ったことを発表し合う。	(関)学習に意欲をもち、全文を読んで初発の感想をもつことができる。
	2	・全文を概観し、学習の見通しをもつ。	・どんな報道スタッフがいて時間とともにどんな仕事が行われているのか、だいたいの内容をつかむ。	(読)書かれている内容の知りたいをつかむことができる。
	3	・学習計画を立てる。	・学習計画を立てる。	(関)学習計画について意欲的に考えようとしている。
たしかめる	4	・ニュース番組の特集として取り上げられるまでの過程を学習していくことを読み取る。 (形式段落①)	・防災訓練がニュース番組の特集として取り上げられるまでの過程を学習していくことを理解する。	(関)ニュース番組に興味をもつことができる。
	5	・ニュース番組を放送するため、16日前に報道スタッフ(デスク・ディレクター・アナウンサー)がしたことを読み取る。 ※話題選びと会議Ⅰ (形式段落②③)	・放送16日前に報道スタッフがした「話題選び」「取材・撮影の仕方会議」の内容について読み取る。	(読)ニュース番組を放送するため、16日前に報道スタッフがしたことを読み取ることができる。
	6	・ディレクターが取材を始めて分かったことを読み取る。(形式段落④⑤⑥)	・取材を始めて分かった「住民感情」と「住民の理解」について読み取る。	(読)取材をして分かったことを読み取ることができる。
	7	・ニュース番組を放送するため、8日前にスタッフ(デスク・ディレクター・アナウンサー)がしたことを読みとる。 ※会議Ⅱと撮影開始 (形式段落⑦⑧)	・会議Ⅱの内容と撮影の工夫について読み取る。	(読)ニュース番組を放送するため、8日前に報道スタッフがしたことを読み取ることができる。
8 本時	・ニュース番組を放送するため、2日前にスタッフ(ディレクター・デスク)がしたことを読み取る。 (形式段落⑨⑩)	・ビデオ編集の仕方と放送原稿書きの工夫について読み取る。 ★「町から情報を発信しよう」 出版社名・学習研究社	(読)ニュース番組を放送するため、2日前に報道スタッフがしたことを読み取ることができる。	

	9	・デスクやディレクター・ 筆者が言いたいことをと らえ、報道番組作りにつ いて自分の感じたことや考 えをまとめて書く。 (形式段落⑪⑫)	・報道スタッフと筆者の言 いたことをとらえ、自分 の感じたことや考えたこ とを書く。	(書)自分の考えを書くこ とができる。
ひろ げ る	10	・学習のまとめをする。	・全文を通読し、時間の経過 と共に「特集」のつくり方 を振り返り、まとめる。	・「特集」がどうやってつく られるのか、まとめること ができる。
	11	・自分の興味関心があるこ とについて伝えたい話題 を選び、必要な材料を集 めて、新聞を書く。	・自分の興味関心があるこ とについて取り上げ、必要 な情報を集め、新聞を書 く。	(書)自分が選んだ話題につ いて必要な情報を集める ことができる。 (書)集めた材料をもとに、 内容を整理して新聞を書 くことができる。
	12			
	13			
	14			
15				
	16	・できあがった新聞の内 容を発表し合い、感想を 交流する。	・友達の発表を聞き、感想 を交流する。	(関)積極的に発表会に参 加することができる。 (話)自分の伝えたいこと が伝わるように話すこと ができる。
	17	・単元全体を振り返り、 学習のまとめをする。	・学習を振り返り、自己評 価をする。 ☆「情報を得ること・伝 えること」出版社名・プ ラ社	(書)学習を振り返り、自 己評価をすることができる。

5 本時の指導

(1) ねらい

- ・ ニュース番組を放送するために、報道スタッフ（ディレクター・デスク）が2日前にすることを読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学習内容・教師の働きかけ	期待する児童の反応	留意点・評価
つか む 5 分	1 前時想起 ○前の時間を振り返るために 前時の学習場面を読もう。 2 学習課題の確認 さつえいが終わってか ら、放送までの間にスタッ フがしたことを読み取ろ う。	・一斉読み ・場面の確認	・前時の学習場면을音読 し、前時想起とする。 ・課題を把握することが できたかチェックする。
た し か め る	3 課題解決への取り組み (1) 学習場面の音読 ○今日出てくるスタッフが、ど んなことをしたのか考えな がら聞こう。 (2) 学習場面の読み進め ○撮影が終わったのは放送の 何日前ですか。 ○この段落に出てきたスタッ フは、どんな名前の人ですか。	・順番読み ・2日前のこと ・ディレクター ・デスク ・アナウンサー	

<p>た し か め る 3 5 分</p>	<p>○ディレクターは、デスクと相談して何を始めましたか。</p> <p>○撮影した 6 時間分のビデオテープを何分間にまとめなければならないのですか。</p> <p>○8分間の中に、どんな答えが分かるように編集しようと考えましたか。2つみつけよう。</p> <p>○その2つの編集内容は、どのようにまとめられたか、書いてあるところを教えてください。</p> <p>○見つけたところを読みましよう。</p> <p>○撮影が終わってから放送までの2日間に行われたことはビデオ編集だけですか。</p> <p>○放送用原稿は誰が書きますか。</p> <p>○放送用原稿の書き方が書いてあるところはどこですか。</p> <p>(3) 視写 ○放送用原稿も書き方を考えるために、みつけたところを1行空けで視写します。</p> <p>○一人学び (作業の進んでいる児童のための手立て)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 書いた文を目で読む。 2 分からない言葉に○。 3 放送用原稿の文章を書く時の工夫が書いてあるところに波線。 4 なぜ、そのような工夫をすると良いのか、その理由を書き込む。 </div> <p>(4) 学び合い ○書いた文を読もう。</p> <p>○分からない言葉は、ありませんか。</p> <p>○考えやすくするために、書いた文を2つに分けよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオの編集 ・8分間 ・「訓練がなぜ実現したか」その答えが分かるように編集。 ・「訓練に参加した住民はどう思ったか」その答えが分かるように編集。 ・前半は-----。 ・後半は-----。 ・一斉読み ・放送原稿書きもする。 ・ディレクター ・P.36の1行目最後の文字から～7行目まで ・P.36の1行目最後の文字から～7行目までを視写 ・一斉読み ・結論 ・述べる ・ひと目 ・文章を書く時の工夫が書いてあるところとそうでないところ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディレクターが放送2日前にビデオテープの編集をすることを読み取り、発表しようとしたかチェックする。 ・ディレクターが放送2日前にビデオ編集と同時に放送原稿書きもすること読み取り、発表しようとしたかチェックする。 ・視写が正確にできているか確認する。
---	---	---	---

	<p>○前の文章から考えます。放送用原稿とは、どんな文章ですか。</p> <p>○後半の文章を考えます。「この」は、何を指していますか。</p> <p>○放送用原稿の書き方にはどんな工夫が必要か、みつけた人は教えてください。</p> <p>○なぜそのような工夫をするとういのか、その理由が分かる人は教えてください。</p>	<p>・アナウンサーがビデオ映像に合わせて読む文章。</p> <p>・放送用原稿</p> <p>①耳で聞いて分かりやすいように言葉を選ぶ。 ②初めに結論を言い、理由を後から述べる。 ③文は短く、主語と述語の間をなるべく空けない。 ④地図や表などを用意する。</p> <p>・聞く人が分かりやすいように ・内容が正確に伝わるように ・地図や表などを使うとひと目で内容分かりやすい</p>	<p>・友達の発表を聞き、読み取りの共有化を図る。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>4 学習のまとめ ○まとめの音読をする。</p> <p>5 次時の学習内容確認 ○次の時間は、形式段落⑪⑫のまとめの段落の学習をします。</p>	<p>・学習場面を指名読み</p>	

(3) 具体の評価規準と支援の手立て

・報道スタッフが放送	A	B	支援の手立て
<p>2日前にやること2つ（ビデオの編集の仕方と放送用原稿の書き方）を読み取ることができる。</p>	<p>・報道スタッフが放送2日前にするビデオの編集の仕方と放送用原稿の書き方の工夫を読み取り、なぜそのような工夫をするとういのか考えることができる。</p>	<p>・報道スタッフが放送2日前にすること（ビデオの編集と放送用原稿書き）2つを読み取ることができる。</p>	<p>・「ディレクター」という言葉を探させ、その述語にあたる「どうする。」を見つけるよう支援する。</p>

(4) 板書計画

学習課題

さつえいが終わってから、放送までの間にスタッフがしたことを読み取ろう。

二日前にしたこと

①ビデオ編集

②放送用原稿書き

ディレクター

放送用原稿には、アナウンサーがビデオ映像に合わせて読む文章を書いて入れます。この文章の書き方には、工夫が必要です。耳で聞いて分かりやすいように言葉を選び、初めに結論を言い、理由を後から述べるように書きます。一文は短くして、主語と述語の間を、なるべく空けないようにします。さらに、ひと目で分かるように、地図や表なども用意します。

(一人学び)

- 1 書いた文を目で読む。
- 2 分からない言葉に○
- 3 放送用原稿を書く時の工夫が書いてあるところに波線。
- 4 なぜ、そのような工夫をするか、その理由を書きこむ。